J 1 0 – 1 4 0 6

KPシリーズ

プリンタドライバ

取扱説明書

 $\lceil \texttt{Ver. 2.03} \sim \rfloor$

(for Windows 2000, XP, Vista, 7,8)

小林クリエイト株式会社

目次

1.	は	よじめに	1
2.	メ	メニュー	1
3.	ブ	プリンタドライバのインストール手順	2
4.	イ	インストール後の設定について	4
4.1	•	ポートの設定	4
4.2	•	ユーザー定義サイズの設定	6
4.3	•	アプリケーションでのユーザー定義サイズの設定	9
4.4	•	印刷のプロパティ	10
4.5	•	プロパティの既定値	13
4.6	•	バーコードの設定について	15
4	.6.	.1. バーコードの設定手順	15
4	.6.	.2. QRコードの設定手順	
4	.6.	.3. バーコード比率の変更	20
4.7	•	カレンダの設定について	22
4	.7.	.1. 置換テーブルファイルの設定について(KT使用時のみ)	24
4.8	•	可変入力の設定について	27
4.9	•	印刷プロパティの参照について	
4	.9.	.1. 印刷プロパティの読み込み	
4	.9.	.2. 印刷プロパティの保存	29
5.	ブ	プリンタドライバのアンインストール手順	29
6.	L	LAN ポートでのご使用について	31
6.1	•	LANポートモニタインストール手順	31
6	8.1.	.1. ラベルプリンタドライバがインストールされていない場合	31
6	3.1.5	.2. ラベルプリンタドライバがインストールされている場合	33
6.2	•	LAN ポート選択方法	34
6.3		LAN ポート削除方法	37
6.4	•	LAN 設定ユーティリティについて	
6	6 .4.	.1. LAN 設定ユーティリティのインストール手順	
6	8.4.5	.2. LAN 設定ユーティリティの設定	40

1. はじめに

この説明書は、プリンタドライバのインストールや取扱説明および各種ポートの設定 方法について記述したものです。

※ 対応OSは Windows 2000, XP, Vista, 7,8 です。

2. メニュー

CD を挿入した後、OS の種類に応じて、CD 内の以下のファイルを起動してください。 32 ビット OS:「x86」フォルダ内の「setup. exe」

64 ビット OS: 「x64」フォルダ内の「setup. exe」

LANポート	
LAN設定ユーティリティ	
プリンタドライバ	
終了	

各ボタンの説明

LAN ポート:LAN ポートモニタのインストール・削除を行います。

LAN 設定ユーティリティ:LAN 設定ユーティリティのインストール・削除を行います。 プリンタドライバ:ラベルプリンタドライバのインストール・削除を行います。

各項目の内容について、

LAN ポート:項目6へ

LAN 設定ユーティリティ:項目6.4~

プリンタドライバ : 項目 3 (P. 2)へ

※LAN ポートでご使用される場合は、必ず LAN ポートをインストールしてから プリンタドライバをインストールして下さい。⇒(P.24)

[※] 例として Windows 7 でのインストール方法を説明しているため、他のOSでは、 画面や操作方法が若干異なることがあります。

3. プリンタドライバのインストール手順

(1) インストールメニュー画面で「プリンタドライバ」を選択すると、次の画面が 表示されますので、「ラベルプリンタ(KP シリーズ)」をクリックして次へ進みま す。

<u>প্তি</u> হড় ১ স্থ্য	×
LANポート	
LAN設定ユーティリティ	
プリンタドライバ	
終了	
	x
ラベルプリンタ(KPシリーズ)	
終了	

(2)使用するプリンタのモデルを選択し、OKをクリックします。KP-300Rご 使用の場合は、KP-300を設定してください。

KP-100 KP-200	ОК
(P-300 (P-500	キャンセル
.1 000	

(3) ポートの種類を選択し、OKをクリックします。

ポートの種類	×
© COMポート	ОК (++)tu
© LANポート	

※LANポートをご使用の場合は先にLANポートモニタをインストールして下さい。

(4) COM ポートの場合、使用されるポートを選択して OK をクリックします。

COM2:	OK
COM3: COM4:	キャンセル
A State	

(5) 通常使うプリンタとするかどうか「はい」または「いいえ」を選択し、インス トールをクリックすると、セットアップが始まります。

@1+L\	のプリンタを通常使うプリ	リンタとして使いますか?
	● はい	1921-1

(6) しばらく経つと、インストールが完了します。

しました。
ОК

(7)(1)のメニューが再び表示されたら「終了」ボタンを2回押してください。

- 4. インストール後の設定について
 - 4.1. ポートの設定
 - (1)ドライバインストール後、印刷データを作成するプログラムを起動して、ポートを設定して下さい。プリンタのプロパティ(画面1参照)を選択します。



(2)表示される[KP-300のプロパティ]ダイアログから[ポート]タブに切り換えて[ポ ートの構成]ボタンをクリックします。

主般 共有		201管理 セキュリティ フリンター	
印刷するポート ドキュメントは、 で印刷されます	(<u>P)</u> チェック ボックスがオンにな 「。	っているポートのうち、最初に利用可能	なもの
ポート	説明	プリンター	*
LPT1:	プリンター ポート		
LPT2:	プリンター ポート		=
LPT3:	プリンター ポート		
COM1:	シリアル ポート	KP-300	
COM2:	シリアル ポート		
COM3:	シリアル ポート		
COM4:	シリアル ポート		-
ポートの追	加(工) ポー	トの削除(D) ポートの構成	(<u>C</u>)
図 双方向サポ □ プリンター フ	ートを有効にする(E) ¹ ールを有効にする(<u>N</u>)		

(3) [ポートの構成]ボタンをクリックし、表示される COM のプロパティのダイアログ でポートの設定をしてください。

ポートの設定	機種別設定可能最大ボーレート
15-1 X1/DX (######	①KP-300R=115,200bps
E9F/72/B/ 15/600	②KP-100(製造番号~3000 迄)
データ ビット(<u>D</u>): [8 🛛 🖵]	=9,600bps
パリティ(P): なし、	③KP-100(製造番号 5000~)
ストップ ビット(S): 1	=38,400
70〜制御(E): なし	(後期モデル 57,600bps)
既定値に戻す(B)	④KP-200,KP-300,KP-500
	=57,600bps

※ラベルプリンタ側の[ユーザセットアップ]にある COM の設定を本設定に合わせて 下さい。

ー部の機種では、使用できるボーレートが異なりますので、ラベルプリンタの取扱説 明書を参照して下さい。

【COM と LAN ポート設定時、「双方向サポートを有効にする」で、ご使用ください。 【LPT ポート設定時では、チェックを外してください。

4.2. ユーザー定義サイズの設定

ドライバインストール後、アプリケーションを起動して、ラベルを編集する前に、ラ ベルのサイズを設定して下さい。プリンタのプロパティ(画面1参照)を選択して、 表示されるプロパティから、全般タブの[基本設定](画面2参照)を選択し、ラベル の幅とラベルの長さ(ラベルのピッチ方向の長さ)を設定します。ユーザー定義サイ ズは、最大10組まで登録できます。(ラベル設定画面は次頁画面3)





(画面3)

ラベルの設定欄の説明

ラベル幅	ラベルの幅を 0.1mm 単位で設定することが出来ます。
ラベル長さ ―――	ラベルの長さを0.1mm単位で設定することが出来ます。
優先する印刷方向 ――	ここで選択した方向にラベルの向きが設定されます。
180 度回転 ————	「する」を選択すると印字の際に 180 度回転して印字
	します。

※ プリンタのプロパティで、[詳細設定]タブから[標準設定]というボタンを押すと 上と同じ画面に入りますが、パソコンを複数のユーザーで使用している場合、 パソコンの管理者が他のユーザーの設定を変えたい時に使用する画面です。 ここで設定を変えても他のユーザーには設定が反映されますが、管理者には 反映されません。(画面4)

般 共有 ポート	詳細設定色の管理セ	キュリティ	プリンター
 常に利用可能(<u>L</u>) 			
)開始(B)	0:00	終了	0:00
優先順位(<u>Y</u>):	1		
∋1/(-(<u>∨</u>): κ	P-300	•	新しいドライバー(W)
 印刷ドキュメントをご 全ページ分のう すぐに印刷デー すぐに印刷デー ブリンターに直接印 	スプールし、プログラムの印刷処3 データをスプールしてから、印刷5 タをプリンターに送る(<u>1)</u> 刷データを送る(<u>D</u>)	理を高速に データをプリ	ニ行う(<u>5)</u> ンターに送る(工)
 印刷ドキュメントをご ② 全ページ分のう ③ すぐに印刷デー ・プリンターに直接印 □ □ つ数しないドキュメ 	スプールし、プログラムの印刷処3 データをスプールしてから、印刷5 タをプリンターに送る(<u>1</u>) 刷データを送る(<u>D)</u> ントを保留する(H)	理を高速に データをプリ	ニ行う(<u>5</u>) ンターに送る(工)
 印刷ドキュメントをご 金ページ分のラ すぐに印刷テー ブリンターに直接印 一致しないドキュメ スプールされたドキュ 	スプールし、プログラムの印刷処 データをスプールしてから、印刷ラ タをプリンターに送る(<u>1</u>) 刷データを送る(<u>D</u>) ントを保留する(<u>日</u>) Lメントを最初に印刷する(R)	理を高速に データをプリ	:行う(<u>5</u>) ンターに送る(I)
 印刷ドキュメントをご 全ページ分のう すぐに印刷デー ブリンターに直接印 一致しないドキュメ スプールされたドキ: 印刷後ドキュメント 	スプールし、プログラムの印刷処理 データをスプールしてから、印刷ラ ・タをプリンターに送る(I) 刷データを送る(<u>D</u>) ントを保留する(<u>H</u>) レメントを最初に印刷する(<u>R</u>) を残す(<u>K</u>)	理を高速に データをプリ	:行う(<u>S</u>) ンターに送る(<u>T</u>)
 印刷ドキュメントをご 全ページ分のデ すぐに印刷デー プリンターに直接印 一致しないドキュメ スプールされたドキュ 印刷後ドキュメント 詳細な印刷機能を 	スプールし、プログラムの印刷処3 データをスプールしてから、印刷行 タをプリンターに送る(<u>1</u>) 刷データを送る(<u>D</u>) ントを保留する(<u>H</u>) Lメントを最初に印刷する(<u>R</u>) を残す(<u>K</u>) に有効にする(<u>E</u>)	壁を高速に データをプリ	:行う(<u>5</u>) ンターに送る(I)
 印刷ドキュメントをご 全ページ分のデ すぐに印刷デー プリンターに直接印 一致しないドキュメ スプールされたドキュ 印刷後ドキュメント 詳細な印刷機能を 標準の設定(F). 	スプールし、プログラムの印刷処3 データをスプールしてから、印刷行 タをプリンターに送る(I) 刷データを送る(D) ントを保留する(H) レメントを最初に印刷する(R) を残す(<u>K</u>) と行効にする(<u>E</u>) プリントプロセッサ(<u>N</u>	理を高速に データをプリ)	近う(5) ンターに送る(I) 区切りページ(0)

(画面4)

4.3. アプリケーションでのユーザー定義サイズの設定

アプリケーションを起動して、ラベルを編集する前に「2.ユーザー定義サイズの設定」で設定したユーザー定義サイズの中から、編集するラベルに合ったサイズを選択します。

Microsoft Word 2000 では、下の画面のように"ページ設定"の"用紙サイズ"でユーザー 定義サイズを選択できます。

※用紙サイズ設定後、余白(Word)やマージン(一太郎)を設定して下さい。余白・マージンは設定できる最小の値で設定して下さい。

用紙サイズ(<u>F</u> ラベル1	<u>)</u> :	•	-プレビ:	L.—	
幅(<u>₩</u>): ■★/r\	50 mm				
印刷の向き	• 縦(<u>〔</u>) ○ 横(<u>C</u>)				
			設定対	象(Y): 文書全(ŧ <u> </u>

※但し、用紙サイズにおいては幅を長さよりも大きく設定した場合、アプリケーション によっては印刷の向きが縦横逆になってしまうことがあります。その際は印刷の向き の設定を横向きに設定してください。

4.4. 印刷のプロパティ

ワープロアプリケーションの印刷ダイアログ(Word 2000 の場合画面5、一太郎 13 の場合画面6)のプロパティボタンを選択すると次ページ画面7のプロパティが設定できます。

ED刷	2 ×
プリンター	
ブリンタ名(N): GGKP-300	▼ プロパティ(P)
状態: アイドリング中 種類: KP-300 場所: コメント:	□ ファイルへ出力(L)
FD刷範囲	- ED局)音移数
 ● すべて(A) ● 現在のページ(E) ● 選択した部分(S) ● ページ指定(G): 1,3,6 のようにページ番号をカンマで区切って指定するか、4-8 のようにページ範囲を指定してください。 	部数(<u>C</u>): 1 <u>→</u> 1 1 1 1 → 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
印刷対象(W): 文書	拡大/縮小 1 枚あたりのページ数(円): 1 ページ ■ 用紙サイズの指定(Z): 倍率指定なし ▼ OK キャンセル
	(画面5)

設定	≣¥#⊞	C	7928	
フリンタ名(N) KP-300		•	プロパティ(<u>P</u>)	
種類: KP-300				
場所: COM1:				
□ ファイルへの出力(L)				
リンタ名: KP-300				
	و برجد:			

(画面6)

 ゆ オブション ② ラベル ゴノ・コード色 オブションの設定 ゴカ先、ブリンタ ファイル名: Noname カット指令: カットしない カット位置: ページ単位 カット枚数指定: しない カット枚数指定: しない カット枚数: 1枚 ピッチ送信: しない エラー時の再印刷: 夏る リボン節約指定: しない 印字後のノ(ターン指定: 印字後停止 分割指定: しない 印字位置: 査詰め 左端からの位置: 0 (x0.1mm) 	カレンダー	🖓 可変入力	D 7711	
オプションの設定 プァイル名: Noname カット指令: カットしない カット位置: ページ単位 カット枚数指定: しない カット枚数指定: しない カット枚数指定: しない ワテ・デジョンの設定 ウット カット ウット ガット ウッチ ウェー ウェー <td>ዀ オプション</td> <td>2 JAIN</td> <td>🔝 バーコード色</td> <td></td>	ዀ オプション	2 JAIN	🔝 バーコード色	
Yオノゼット転送: <u>しない</u> Yオフゼット: <u>0 mm</u> 圧縮データ転送: <u>する</u> エラー表示自動解除: <u>しない</u>		▼ <u>しない</u> <u>-ジ単位</u> <u>ない</u> 変 <u>する</u> <u>ない</u> 続: <u>印字後停止</u> : <u>0 (x0.1mm)</u> <u>しない</u> mm <u>る</u> h: <u>しない</u>		

プロパティの説明

出力先 ―――― 出力先をプリンタかキーボードターミナルかの 設定をします。

※キーボードターミナルを使うと、パソコンに接続し、書き込みをする事で現場 のプリンタに接続し、ファイルの選択・転送、可変入力等をする事が出来ます。 プリンタの周りにパソコンを置くスペースが限られている場合に有効です。



カット指令 ------ オプションのカッタ装置を使用し、発行枚数単位で カットさせるかの設定をします。

カット位置 — カット指令を「カットする」にしたときページ単位 か最終カットかの設定をします。

カット枚数指定 ----- カッタ装置で何枚ずつラベルをカットするかの設定 をします。

ピッチ送信 ――――	連続紙をご使用の場合のみ選択します。
エラー時の再印刷 ―――	ラベル・リボン切れから復帰後エラーの出た時点の
	ラベルを再度印刷するかどうかの設定をします。
リボン節約指定 ————	KP シリーズでは、「しない」で、ご使用ください。
印字後のパターン設定 ――	下記のパターンの選択をします。
	①印字後停止
	②印字後白紙送り
	③印字後チェックパターン
	④もぎり位置送り
分割指定 —————	高速で、プリントヘッドと水平方向の罫線や、
	90°回転したバーコードの印字を行うと、インクの
	尾引きによる乱れが生じることがあります。分割指
	定を設定すると尾引きが軽減できます。但し最大印
	字速度は 75mm/s になります。
	通常は「しない」に設定しておいてください。
印字位置 —————	横方向の印字開始位置を中央・右寄せ・任意から
	選択できます。任意にした時はヘッド左端からの位
	置を 0.1mm 単位で設定できます。
	<u>KP-200,KP-300,KP-300R</u> では、「右寄せ」でご使用
	<u>ください。</u>
Yオフセット ――	KP シリーズでは、「しない」で、ご使用ください。
	「する」に設定するとエラーになります。
圧縮データ転送	印字データを圧縮して転送するかどうかの設定を
	します。データを転送してから印字するまでの時間
	を短縮することが出来ます。
	機種によりデフォルトが異なります
	①「する」に設定の機種
	KP-200、KP-300、KP-300R
	KP-100(機体 No.5000~)
	KP-500
	②「しない」に設定の機種
	KP-100(機体 No.0001~No.3000)
	注) 圧縮データ転送に対応していないので「する」
	に設定するとエラーが出て印字できません。

エラー表示自動解除 ――― ラベル切れ、リボン切れ、マークエラー、ヘッドア

ップなどのエラーがおきた時にプリンタ側のエラー が解除されたらドライバ側も自動的に解除するかど うかの設定を行います

- 「しない」に設定の場合 プリンタ側のエラー解除後ドライバ側でも 「OK」ボタンを押して解除します
- ②「する」に設定の場合
 プリンタのエラーが解除されればドライバ側
 のエラー表示は自動的に解除されます。

4.5. プロパティの既定値

「4.4. 印刷のプロパティ」で説明したプロパティの既定値を設定できます。 プリンタの「印刷設定」(画面8)を選択して、表示される画面(画面9)で、プロパ ティの既定値を設定して下さい。

		(7.1 7.1)		×
		イスとノリンタ	7-0)検索	<u>م</u>
デバイスの追加 プリンターの追加 印刷:	ジョブの表示 »			0
デバイス (5)				
プリンターと FAX (5)				
				7
	Eav V	KP-300	Microsoft)	
		印刷ジョブの)表示(E)	
	\checkmark	通常使うプリ	リンターに設定(ノ	4)
		印刷設定(G)	ヽプロ <i>い</i> (ニ / (D)	
		>= ++.		
		28-17/2	/ 1500/(FRX(S)	
		トラノルショ デバイスの皆	∟ーティング(T) (唯(V)	
KP-300 状況: 🕖 既定	状態	プロパティリ	R)	
モデル: KP-300 カテゴリ: プリンター		ו) וי כו כם כ	y .	



- 4.6. バーコードの設定について
- 4.6.1. バーコードの設定手順

文字色を指定してバーコードを描画することが出来ます。

(1) プリンタのプロパティから全般タブの[印刷設定]を押し、バーコードの色の設 定画面に入ります。(画面1参照) 色を選択し、次に左のプラスを選択するとバーコードの種類等を選択できます。 (画面2,画面3参照)

崇 KP-300 印刷設定 ➡ KP-300 印刷設定 「〕 ファイル ぼ バーコード色 🔓 可変入力 「1 ファイル ぼーコード色 □ カレンダー ちゅう 可変入力 一 カレンダー \$ JKIL ዀ オブション のラベル ዀ オブション 🔝 バーコード色の設定 🔝 バーコード色の設定 <u>
色1:</u>
赤:255,緑:0,青:0 バー種: <u>JAN-13</u> ●1: 使用しない
 ●2: 1 ● 使用しない -• - 色:1
 ● (金):1
 ● (2):1
 ● (2):1
 ● (2):1
 サイズ: 0 バー長: <u>8 mm</u> 可読字: <u>あり</u> 回転: <u>0°↑</u> セルサイズ: 02: 0.17 色8:1 赤:128,緑:0,青:0 エラーレベル: L:レベル1(7%) 色9:1 赤:0,緑:128,青:0 モデル:1 ● 10: 赤:0,禄:128,青:128
 赤:0,禄:128,青:128 色2: 使用しない 色3: 使用しない 色4: 使用しない 赤:128.緑:0.青:128 色5: 使用しない 色6: 使用しない 色7: 使用しない 色8: 使用しない 色9: 使用しない ÷. 色10: 使用しない OK キャンセル 適用(A) OK キャンセル 適用(A) (画面1)

(画面2)

- 15 -

300 印刷設定		
 」カレンダー 通 オプション 	「 ふ 可変入力 ひ ラベル	б 🗄 Х-
バーコード色の設定	0.青:0	
八一種: JAN	1-13	-
サイズ: (JAN-13	
八一長: と 1123	JAN-8	
□読子: 2	UPC/AC	
<u> 미戰: 0°</u> IIIII 0123	UPC-E	
セルサイ 1	CODE39	
エラーレ 111	NW-7	
モデル: 1 IIIII	ITF 20f5	
ーー・色2: <u>使用し</u> が 調調	CODE39/CD	
ーー・色3: <u>使用し</u> / IIII	CODE128	
—— 色4: <u>使用し1</u> IIII	CODE93	
色5: 使用し/ 11	RSS-14	
色6: 使用し1	RSS-14 Truncated	
色7: 使用し/ 1	RSS-14 Stacked	
	RSS-14 Stacked Omnidi	rectional
ー 色9: <u>使用し</u>	RSS Limited	
色10: <u>使用し</u>	OR⊐−ド	
1000	270 mas - 2000	

注)バーコードについては、各規格に基づいたデータを入力してください。

ここでは赤色を選択し、バー種・サイズ等を決定して[OK]もしくは[適用] ボタンを押して決定します。 (2) 次に、アプリケーションでバーコードのデータを入力します。

(ここでは Microsoft Word 2000 での操作を説明します)

データ入力後、マウスにて該当箇所をドラッグし反転させフォントの色を、先ほ どプリンタのプロパティで設定した色に設定します。

設定すると、印字の際には入力したデータを持って、プロパティで設定した書式 のバーコードを印字することが出来ます。

※但し、データの最後にスペースがあると、データとして扱いませんので注意して ください。



※上の図は前頁のプロパティのバーコードの設定(赤色,CODE39/CD,サイズ 0, バー長 8mm,回転 0° ↑,可読字あり)で「123456」というデータを入力しています。

フォント	2 ×
フォント 文字幅と間隔 ア. 日本語用のフォント(<u>T</u>): MS 明朝	ニメーション スタイル(Y): サイズ(S): ・ 標準 「10.5
英数字用のフォント(<u>F)</u> : Century	
すべての文字列 フォントの色(<u>C</u>): 下線(<u>U)</u> : 「下線なし)	下線の色(0): (傍点()) ▼ 自動 ▼ ((傍点ない) ▼
自動	- 影付き(W) 「小型英大文字(M) - 中抜き(O) 「すべて大文字(A) - 浮き出し(E) 「隠し文字(H) - 浮き間が(V)
 この他の色… 	1 アイウ Ay123 ©™
既定値として設定(<u>D</u>)	OK キャンセル

4.6.2. QRコードの設定手順

バー種よりQRコードを選択します。



- (1) セルサイズ(QRコードを構成する最小の点の大きさ)の設定
 セルサイズは、0.17mm~1.33mmまで選択できます。
 セルサイズが大きい程QRコードも大きくなります。
- (2) エラーレベル(エラー訂正レベル)の設定
 エラー訂正レベルとは、QRコードが何%まで欠けたり汚れても元のデータが
 問題なく読めるかの設定になります。
 エラー訂正レベルのパーセンテージが上がる程復元レベルが高まりますが、
 QRコード自身のサイズも大きくなります。
- (3) モデルの設定

モデル1とモデル2があり通常はモデル2を使用される場合が多いようです。 モデル2を使用するメリットは、多少湾曲した面での読み取りに強く、数字で あれば、約7,089文字まで扱えます。(モデル1は1,167文字)

サイズ:	02: 0.17					
ーレベル	02: 0.17					
ル: <u>1</u>	03: 0.25					
目しない	04: 0.33					
刊しない	05: 0.42					
目しない	06: 0.50					
目しない	07: 0.58					
用しない	08: 0.67	$\sim \iota$:	L:レベル1(7%)	-		
用しない	09: 0.75		器 にレベル1(7%)			V VV
用しない	10: 0.83	201	器 M:レベル2(15%)		モデリ	1 🔹
目しない	11: 0.92	<u>261</u>	課Q:レベル3(25%)		2: 使用	
囲しない	12: 1.00	132	開 H:レベル4(30%)		3: 使用	した 副語 2
	00 13.100	261		_	4: <u>使用</u>	Utain

(4) 設定方法については通常のバーコードと同じですが、QRコードのみ指定されたファイルからデータを取り込み印字させることができます。 プロパティ・・・>印刷設定・・・・>ファイルで・・・・>二次元コードのデータ「編集」ボタンを押すと編集画面が表れます。

🌆 オブション	B ラベル	🔜 バーコード色
🔟 カレンダー	🛛 🖓 可変入力	D 7711
設定		
[244.17
1未1子		読込
置換テーブル		
	編集	1
		1
二次元コードのデーター		
	編集	1
	編集]

- ① 呼出――すでに登録されたデータを呼び出し編集することができます。
- ② 登録――編集したデータを登録する場合に用います

アプリケーションで設定されたデータと名前を合わせます。



注) Windows 7 や8において、「登録」ボタンが無効になっている場合があります。
 Professional 版の場合、Windows のユーザーアクセス制御(UAC)を無効にすると、
 「登録」ボタンが有効になります。

Home 版の場合、デバイスとプリンターから印刷設定を管理者権限で実行すると、 「登録」ボタンが有効になります。

4.6.3. バーコード比率の変更

1次元バーコードのバーコード比率を変更することができます。

設定変更ができるバーコードは下記の9種類です。

JAN13/8、UPC-A/E、CODE-39、NW-7、ITF、CODE-128、CODE-93 バーサイズをクリックすると「比率設定」のボタンが出てきますので、これを 押します。

➡ KP-300 印刷設定	
▶ オフション	
🔝 バーコード色の設定	
□ 色1: <u>赤:255,禄:0,青:0</u>	
- 八一祖· <u>INW-7</u> サイズ: 0 ▼ 比率設定	比率設定
バー長: <u>8 mm</u>	
	バー種: NW-7 OK
ーーー セルサイズ: <u>02: 0.17</u>	サイズ: 0
ーーエラーレベル: <u>L:レベル1(7%)</u>	
	比率設定
8 色3: 使用しない	PL-TBX/C
ー 色4: <u>使用しない</u>	ナローバー 2 世 エレメント比
□ − − − − − − − − − − − − − − − − − − −	D∠KIS- 5 🔄 25 🐳
 ●● 2: 使用しない 	
由 色8: <u>使用しない</u>	ナロースペース ビー 雌正
田	ワイドスペース 5 👘
	A 1134 A
	バーギャップ
	可読文字ギャップ 0
<u>OK</u> <u>キャンセル</u> 通用(<u>A</u>)	

注) 一旦比率設定した項目のバー種やバーサイズを変更すると設定内容がク リアされますので、ご注意ください。この場合再設定が必要です。 「比率を設定する」にチェックを入れると設定が可能になります。

比率設定の方法は、2通りあります。

① エレメント比を指定して設定

ナローバーを基準に指定されたエレメント比でバーコードが生成されます。 まず、基準となるナローバーのドット数を指定し、次にエレメント比を選択 します。「確定」ボタンを押すと自動的にナローバーと可読文字ギャップ以外 の設定が変更されます。最後に「OK」を押すと完了です。

②自由設定

バーやスペース、ギャップなどをエレメント比に関係無く自由に設定する場合に用います。設定後「OK」を押すと完了です。

バー種: NW-7			OK
サイズ: 0			キャンセル
比率を設定する			
率設定			
ナローバー	2	-	エレメント比
ワイドバー	5	\$	2.5
ナロースペース	3	-	確定
ワイドスペース	6	-	
バーギャップ	3	\$	
可読文字ギャップ	4	-	

4.7. カレンダの設定について

フォントを指定する事でオートカレンダを設定する事が出来ます。 置換テーブルの機能はKT-1020使用時のみ印字に反映されます。

(1)「プリンタのプロパティ」から「印刷設定」に入り、「カレンダー」タブを選択 します。

🌆 オプション	\$ 5KIL	📑 バーコード色
一 カレンダー	💦 可変入力	D 7711
] カレンダーの設定		
Calendar1		1
ローー 書式データ		
·····································	L文字(24x42ドット) -	
横倍率: 1	倍	
~ 縦倍率: 1	倍	
回転: <u>0° ·</u>	<u>r</u>	
間隔: 21	<u>*9</u> F	
□ 属性		
日·時: <u>日</u>	付	
書式: <u>YY</u>	MD	
	<u>年後</u>	
加算月: 0	<u>カ月後</u>	
加算日: 0	日後	
置換テーブル		
Calendar2		
ローー 書式データ		
文字種: 1	. <u>文字(24x42ドリト)</u>	
横倍率: 1	倍	
縦倍率: 1	倍	
回転: <u>0° 1</u>	<u>r</u>	
間隔: <u>2 ト</u>	<u>* 41-</u>	

カレンダ設定欄の説明

書式データ

文字種 ———	S 文字,M 文字,L 文字から文字の種類を選択します。
横(縦)倍率 ——	左右(垂直)方向への倍率を 1~8 倍まで設定できます。
回転 ———	文字の回転方向を 0°,90°,180°,270°で設定できます。
間隔 ———	文字と文字の間隔をドット単位で設定します。
属性	
日・時 ―――	データ内容が日付なのか時間なのかを設定します。
書式 ———	データの書式を設定します。YYYY=4 桁年, YY=2 桁年, MM=
	月の0付き, M=月の0なし, DD=日の0付き, D=日の0
	なし。(例: YY.MM.DD=04.09.01) ※0なしはスペースで埋ま
	ります。
加算年・月・日 ——	データ入力日を起算日として、加算する数値を設定します。

置換テーブルのプロパティ

日付を様々な記号で置き換えるための置き換えテーブルファイルを呼び出します。 (置換テーブルファイルの設定については次ページを参照)

(2) カレンダの設定は、まずアプリケーションでデータを入力し、データを範囲指定してから「Calender1」のフォントを設定します。(フォントはドライバインストール時に自動的にインストールします。)

図) 文書 2 - Microsoft Word	
] ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 挿入(D) 書式(O) ツール(D) 罫線(A)	ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
🛯 🗅 🚰 🖪 🕼 🖑 🐰 🖻 🛍 🝼 🔊 - 여 - 🍓 🖪	9 🗔 🔜 fi 🛷 🐼 🗲 100% 🔹 🕄 🗸
	🖸 💽 🕞 🐨 🕞 🕞 🕞
L 2 4 6 8 10 12 4	Image: Arabic Typesetting Image: Arabic Typesetting Image: Arabic Typesetting Image: Arabic Typesetting
	T Calendar 1 Tr Calendar 2 Tr Calendar 3 Tr Calendar 4 ✓

データとして入力した数字が、プロパティでの設定を反映します。 (ここでは、前頁のように、加算日なしの YY M D となります。)

4.7.1. 置換テーブルファイルの設定について(КT使用時のみ)

日付や時間をある記号で置き換えたい時に時間毎の記号を設定して、カレンダを 置換記号とする事が出来ます。

(1)「プリンタのプロパティ」から「印刷設定」に入り、「ファイル」タブを選択、 「置換テーブル」の「編集」をクリックします。

🌆 オプション 🔤	\$ 5KIL	<u>に</u> バーコード色
一 カレンダー	📔 🕞 可変入力] 771N
設定		
[)
保存		読込
置換テーブル		
ineren venst		
	編集	
ニ゚゚ゕ゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚		
二次元コードのデーター		
二次元コードのデーター	編集	
ニ次元コードのデータ	編集	
二次元コードのデーター	編集	
二次元コードのデータ—	編集	
二次元コードのデータ —	編集	
ニ次元コードのデータ —	編集	

(2)「置換テーブル編集」の画面が表れますので、置き換える年・月・日等を選択し、 置き換える文字を入力します。(画面1)

全ての項目に文字を入力し、ファイル名を入力した後「登録」ボタンを押すと テーブルファイルとして保存されます。(画面2)

ここでは、カレンダの月を1月から順に a,b,c...のアルファベットで置き換える、 「replace」というテーブルファイルを設定します。

置换7-7*14编集	置換デープル編集
古浜7-7%編集 「テーフ%μ種別」月 マープ%μ種別」月 マッイル・名 「 「 「 「 「 「 「 「 「 」 「 」 』 」 』	查換7-7%編集 テーフ%編集 テーフ%μ程別 月 776/μ2 replace 月 置換文字 01 02 03 04 05 06 1 08 09 11 12
<u> キャンセル</u>	キャンセル



(画面2)

Professional 版の場合、Windows のユーザーアクセス制御 (UAC) を無効にすると、 「登録」ボタンが有効になります。

Home 版の場合、デバイスとプリンターから印刷設定を管理者権限で実行すると、 「登録」ボタンが有効になります。 以上の設定を22ページ「カレンダの設定」欄の「置換テーブルのプロパティ」 をクリックして呼び出します。(画面3)

上の画面1・2で「月」に対して設定を行ったので画面3「月」の隣の「...」 をクリックし、上で付けたファイル名「replace」を呼び出し、「OK」を押します。

年		 0	K	
月	REPLACE	 <u>++></u>		
Β	1	 (クリ	7	
時	1			
分				
曜日				

以降、22ページ「カレンダの設定」に沿って設定すると、カレンダの月の部分が 記号に置き換わって発行されます。(例 04.09.30→04.i.30)

4.8. 可変入力の設定について

カレンダと同じようにフォントで指定する事で可変入力を設定する事ができます。 「プリンタのプロパティ」から「印刷設定」に入り、「可変入力」タブを選択しま す。

オプション カレンダー	☆ ラベル ふ 可変入力	🔝 バーコード色 🔂 ファイル
▲ 可変入力の設定		
🖶 💫 Manual1		1
ローー 書式データ		
文字種: L:	文字 (24x42ドット) 🔻	
横倍率: 1倍		
縦倍率: <u>1 倍</u>		
回転: <u>0°个</u>		1
間隔: <u>2 ドット</u>		
KT表示		
🛛 🖓 Manual2		
白 書式データ		
文字種: <u>L文</u>	字 (24x42h** 9h)	
横倍率: 1倍		
縦倍率: <u>1 倍</u>		
回転: <u>0°个</u>		
間隔: <u>2 ドット</u>		
KT表示		
🖃 🏠 Manual3		
白 書式データ		
文字種: <u>L文</u>	<u>字(24x42h*9h)</u>	
横倍率: 1倍		
縦倍率: <u>1 倍</u>		
回転:0°↑		

可変入力設定欄の説明

文字種 ―― S文字, M文字, L文字から文字の大きさを選択します。

横(縦) 倍率 ― 左右(垂直)方向への倍率を 1~8 倍まで設定できます。

回転 ——— 文字の回転方向を 0°, 90°, 180°, 270°で設定できます。

間隔 ――― 文字と文字の間隔をドット単位で設定します。

「KT表示のプロパティ」をクリックすると下の画面が出てきます。

1 夜小内谷	-								
表示上段	ΓΓ	1	T	ſ	Γ	1	ſ	T	1
表示下段		1	T	Т	Γ	T	1	T	1
開始位置 1 ▼									
					E		OK		
					C	+-	<u>لارم</u>	マル	5

ここでは、「表示上段」に、キーボードターミナルに表示されるメッセージを入力し ます。但し、半角カナ英数で入力して下さい。「表示下段」には、表示の左端から何 桁目から入力するのかを、「開始位置」で選択します。

4.9. 印刷プロパティの参照について

本機能は、印刷プロパティの内容を、他のパソコンで利用したり、逆に他のパソコン の設定内容を参照することができます。

本操作を行う前に、拡張子"INI"のついた印刷プロパティファイルのコピーが必要です。 「プリンタのプロパティ」から「印刷設定」に入り、「ファイル」タブを選択します。

	<p-300 th="" 印刷設定<=""><th></th><th></th></p-300>		
設定 保存	1 オプション	🖉 ラベル 🕟 可変入力	1 バーコード色
置換テーブル 編集 二次元コードのデータ 編集	設定 保存		読込
二次元コードのデータ	置換テーブル	[[]][]][]][]][]][]][]][]][]][]][]][]][]]
	二次元コードのデーター	編集	
		ОК	キャンセル 適用(A

4.9.1. 印刷プロパティの読み込み

「読込」をクリックすると、他のパソコンで設定された印刷プロパティの内容を読 み込んで利用することができます。

] 開く	diam'r llean	N. S. State	
בשעב ו	ーター • OS (C:) • PRINT	← ← PRINTの検	م =
整理 マ 新しいフォルタ	7 -		≅ • ⊡ Ø
*	名前	更新日時	種類
	שא MP2° מו איץ MP2° מו אין MP2° מו אין MP2° מו אין	2014/06/03 10:59	INIファイル
■ ビデオ			
🎝 ミュージック			
■ コンピューター			
🚢 OS (C:)			
🚷 DVD ドライブ (I			
	•		
ファイ	ンル名(N): MPプロパティ.INI	→ 印刷設定771	•(*.ini) ▼
		開<(0)	▼ =ヤンセル

4.9.2. 印刷プロパティの保存

「保存」をクリックすると、印刷プロパティの設定内容を他のパソコンで利用するこ とができます。

名前を付けて保存	1 10 10		×
) > PRINT	+ + PRINTO	検索・ク
整理 ▼ 新しいフォルダー			≡ • @
■ デスクトップ ^ 名前	*	更新日時	種類
32 最近表示した場 ⊨	検索条件に一致	する項目はありません。	
🏹 ライブラリ			
■ ドキュメント			
■ ピクチャ			
ビデオ			
⊿ ミュージック			
÷ * [m		•
ファイル名(N): MPプロパティ			•
ファイルの種類(工): 印刷設定ファイル(*.ini)			•
● フォルダーの非表示		保存(5	5) キャンセル

5. プリンタドライバのアンインストール手順

「セットアップ」を選択すると下記画面となりますので「削除」ボタンを押します。(削除する場合は、インストールされたバージョンのメニューソフトで行って下さい)

プリンタが登録されていない場合、この処理画面は表示されません。

19611		
	追加	
	削除	
	中止	

次に「OK」ボタンを押すと表示されている機種全てが削除されます。

KP-100 KP-300	ОК
	キャンセル

削除が完了すると下記メッセージが表示されますので、「OK」ボタンを押し パソコンを再起動してください。

削除	×
?	新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。 今すぐコンピュータを再起動しますか?
	OK キャンセル

6. LAN ポートでのご使用について

プリンタドライバを LAN ポートで使用する場合には「LANポートモニタ」をイン ストールして下さい。 ラベルプリンタ側のLAN設定については「LANインターフェース操作説明書」を ご参照下さい。

6.1. LANポートモニタインストール手順

6.1.1. ラベルプリンタドライバがインストールされていない場合

ここでは、「LAN ポートモニタ」をインストールする方法について説明します。

(1) メニュー画面で「LAN ポート」をクリックすると、LAN ポートのセットアップ 画面に入ります。



「セットアップ」を選択し「追加」ボタンを押して先へ進みます。

	追加	
	削除	
ſ	中止	

初めてLANポートモニタをインストールされる場合、この操 作画面は、表示されず自動的に(2)の処理へ移ります。 (2) [ラベルプリンタ LAN ポート名]ダイアログで、ポート名を入力して、[OK]ボタ ンをクリックして、[ラベルプリンタ LAN ポートの構成]ダイアログを表示します。

ラベルプリンタ LAN ポート名	? X
ポート名を入力してください	ОК
KP-300LAN	キャンセル

※上の図は、ポート名を"KP-300LAN"と入力した場合の例です。

 (3) [ラベルプリンタ LAN ポートの構成]ダイアログで、IP アドレスとポート番号を 確認・変更し、[OK]ボタンをクリックし、[プリンタポート]ダイアログで[閉じる] ボタンをクリックします。

ポート名	LAN	
環境設定		
IPアドレス	192.168.1.253	
12 (سل 12	10001	OK

(4) [プリントサーバーのプロパティ]ダイアログで、ラベルプリンタ LAN ポートが追 加されていることを確認して下さい。

ー フ・	リントサー	バーのプロパティ		x
用紙	. ポ −ト	ドライバー セキュリティ 詳	細設定	
	DE	V036		
<i>Ζ</i> α	ワサーバー上の	Dポート <u>(P</u>)		
1	₹ - ト	説明	プリンター	
С	:OM1:	シリアル ポート		
c	COM2:	シリアル ポート		
c	:ОМ3:	シリアル ポート		
c	:OM4:	シリアル ポート		=
E	ILE:	ファイルへ出力		
L	AN	ラベルプリンタ LAN ポート		
1	92.168	標準の TCP/IP ポート		
X	(PSPort:	ローカル ポート	Microsoft XPS Document W	Ŧ
	ポートの追加	加(<u>工</u>) ポートのi	削除(<u>D)</u> ポートの構成(<u>C</u>)	
		 開じ	る キャンセル 適用	(A)

6.1.2. ラベルプリンタドライバがインストールされている場合

ここでは、ラベルプリンタドライバがインストールされている場合に、「LANポー トモニタ」をインストールし、インストールした「ラベルプリンタLANポート」 を選択する方法について説明します。

(1	メニューから LAI	Nポートを選択すると	ヤットアップ画面に進みます。
	. <u> </u>			

ちゃ セットアップ		
	LANポート	
	LAN設定ユーティリティ	
	プリンタドライバ	
LANポートセット LANポートセット LANポートセット LANポートセット LANポート LANポー LANポー	797	
	セットアップ	
	終了	

「セットアップ」を選択し「追加」ボタンを押して先へ進みます。

	追加	
	削除	
ſ	中止	

初めてLANポートモニタをインストールされる場合、この 操作画面は、表示されず自動的に(2)の処理へ移ります。

(2) [ラベルプリンタ LAN ポート名]ダイアログで、ポート名を入力して、[OK]ボ タンをクリックして、[ラベルプリンタ LAN ポートの構成]ダイアログを表示します。

ラベンレプリンタ LAN ポート名	8 ×
ポート名を入力してください	ОК
KP-300LAN	キャンセル

※上の図は、ポート名を"KP-300LAN"と入力した場合の例です。

(3) [ラベルプリンタ LAN ポートの構成]ダイアログで、IP アドレスとポート番号 を確認・変更し、[OK]ボタンをクリックします。

ポート名	KP-300LAN	
環境設定		
IPアドレス	192.168.1.254	
10. L #4 52	10001	OK

セットアップは完了です。

セットアッ	プを完了し	ました。	
	ſ	ок	

6.2. LAN ポート選択方法

インストールした「LAN ポート」を選択する方法について説明します。

(1) プリンタのプロパティをクリックし、表示されるプロパティから「ポートタブ を選択、「ポートの追加」を押して次へ進みます。

印刷するポート ドキュメントは、 で印刷されます	・(<u>P)</u> チェック ボックスがオンにな 「。	っているポートのうち、最初に利用	可能なもの
ポート	説明	プリンター	*
LPT2:	プリンター ポート		
LPT3:	プリンター ポート		
COM1:	シリアル ポート	KP-300	E
COM2:	シリアル ポート		
🔲 СОМЗ:	シリアル ポート		
COM4:	シリアル ポート		
FILE:	ファイルへ出力		+
ポートの追	加(T) ポー	トの削除(D) ポートの	構成(C)

(2)「プリンタポート」ダイアログで「Label Printer LAN Port」を選択し、 「新しいポート」をクリックして次へ進みます。

CubeMon	
Local Ponter LAN Port Local Port Standard TCP/IP Port	

(3)「ラベルプリンタ LAN ポート名」ダイアログで、ポート名を入力し、 「OK」をクリックします。

ベルプリンタ LAN ポート名	<u> २</u> ×
ポート名を入力してください	ОК
KP-300LAN	キャンセル

※ポート名を"KP-300LAN:"と入力した例です。

(4) IP アドレスとポート番号を確認・変更し、「OK」をクリックします。

ポート名	KP-300LAN	
鏡設定		
IPアドレス	192.168.1.254	
ポート番号	10001	ОК
不──₽ 番亏	10001	

(5)「プリンタポート」ダイアログで「閉じる」をクリックします。

リンター ポート	×
利用可能なボートの種類(<u>A</u>): CubeMon Label Printer LAN Port	
Standard TCP/IP Port	
新しいポートの種類(N)	新しいポート(2) キャンセル

(6) プリンタのプロパティに入力したポートが追加されているので、選択して 「適用」をクリックして確定して下さい。

😽 KP-300のプロパティ		 X	
全般共有ポート詳細語	設定 色の管理 セキュリラ	ティープリンター	
🥪 кр-300			
印刷するポート(<u>P)</u> ドキュメントは、チェック ボックスガ で印刷されます。	^は オンになっているポートのうち	、最初に利用可能なもの	
<u></u> +	説明	プリンター ^	
COM3:	シリアル ボート		
COM4:	シリアル ボート		
FILE:	ファイルへ出力		
KP-300LAN	ラベルプリンタ LAN ボー	- <u>></u> =	
192.168.1.211	標準の TCP/IP ボート	•	
XPSPort:	ローカル ボート	Microsoft XPS D 🚽	
4	III	•	
ポートの追加(<u>T</u>)	ポートの削除(<u>D</u>)	ポートの構成(<u>C</u>)	
☑ 双方向サポートを有効にする □ プリンター ブールを有効にする	図 双方向サポートを有効にする(E) □ プリンター プールを有効にする(N)		
	OK 3	キャンセル 適用(<u>A)</u>	

6.3. LAN ポート削除方法

「セットアップ」を選択すると下記画面となりますので「削除」ボタンを押し ます。

LANポートモニタが設定されていない場合、この処理画面は表示されません。

	追加	
	肖邶余	
ſ	中止	

次に削除したいポートを選択し「削除」ボタンを押します

AA-LAN (PLAN	首北余
4P-LAN	キャンセル

削除が完了すると下記メッセージが表示されます。

削除	~
LANポートを	を削除しました。
	ОК

- 6.4. LAN 設定ユーティリティについて
- 6.4.1. LAN 設定ユーティリティのインストール手順
 - (1) メニュー画面から LAN 設定ユーティリティをクリックすると、セットアップ ウイザードが起動しますので、「次へ」をクリックして進みます。



(2) インストール先のフォルダを選択し、「次へ」をクリックします。

説 LAN設定ユーティリティ	×
インストール フォルダの選択	
インストーラは以下のフォルダへ LAN設定ユーティリティ をインスト・ このフォルダ ヘインストールためには「5太へ」 をクリックしてください。 ールするためには、以下に入力するかまたは「参照」 をクリックしてく	ールします。 他のフォルダヘインスト ださい。
フォルダ(E): C¥Program Files¥LsInst¥ ソフトウェアを以下のドライブにインストールできます(<u>V</u>):	参照(<u>B</u>)
ボリューム	ディスク容量
	222GE
₽Y:	10GE
	*
	ディスク所要量(<u>D</u>)
(キャンセル(<u>C</u>) 戻る(P)	次へ(N)

(3)「次へ」をクリックするとインストールを開始します。

以 LAN設定ユーティリティ	
インストールの確認	
LAN設定ユーティリティ をコンピュータにインストールする準備ができまし	t.o
インストールを開始するためには「次へ」をクリックしてください。	
(キャンセル(C)) 戻る(P)] _ 次へ(N)

(4) しばらくすると完了の画面に変わり、インストールは完了です。

送 LAN設定ユーティリティ	
インストールが完了しました。	
LAN設定ユーティリティは正しくインストールされました。	
終了するためには「閉じる」 をクリックしてください。	
[キャンセル(C)] (戻る(P)	開じる(0)

6.4.2. LAN 設定ユーティリティの設定

LAN 設定ユーティリティを起動し、(画面1) [検索] を押すと、LAN でつながって いるプリンタの IP アドレスやボーレート等の値を自動的に検出することができます。 (画面1)

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
IP Addr	ress MAC .	Address IPBgrz
		IP Address Auto
		IP Address
		is to
		Subnet Mask
		Port
		Port
		Baud Rate
		Baud Rate
		Bits
		Bits
		Parity
		Parity
		Stop Bits
		Stop Bits
		Flow Control
		Flow Control

(画面2)

LanSet V.2.04							x
検索		LAN	設定	ユーテ	イリティ	1	
	IP Address		MAC Addr	ess		P設定	
1	192.168.1.25	53	00 20 4/	\ 8B 5F 6D		IP Address T Auto IP	-
						192.168.1.253	
						設定	
						Subnet Mask	
						255.255.255.0	•
						Port	
						10001	
						Baud Rate	
						921600	*
						Bits	
-						8	Ŧ
						Parity	
						NONE	Ŧ
						Stop Bits	
						1	-
						Flow Control	
						CTS/RTS (Hardware)	-
	1	.ocal Host=E)ev036:192.	168.1.28			

[検索]を押して何も表示されない場合は、パソコンのセキュリティをOFFにし、 LAN設定ユーティリティを再起動させ検索を行ってください。

それでも表示されない場合は、インストール CD 内の DrvInst.ini ファイルを以下 のディレクトリに保存して下さい。

C:¥Program Files¥Sstem32

- IP アドレスの設定 ----- プリンタの IP アドレスを変更したい場合は、値を入力して [IP 設定]を押します。
- AUTO IP の設定 ----- プリンタの IP アドレスを自動取得したい場合は、AUTO IP にチェックを入れ [IP 設定] を押します。 本操作を行う場合には、必ずネットワーク接続をしてお く必要があります。
- サブネットマスクの設定 サブネットマスクの値を変更する場合は値を入力してから [設定]を押します。
- ポート番号の設定 ―― ポート番号の値を変更する場合は、値を入力してから [設定]を押します。 通常「10001」でご使用ください。
- RS-232Cの表示 ―― LANポートで設定されているRS-232Cの内容を表示します。 プリンタ側のRS-232Cの設定は、本表示内容と同じでなけれ ば正常に通信をすることができません。

参考

プリンタ内部では、LANの信号を一旦 RS-232C に変換しながらデータの 送受信を行っています。

